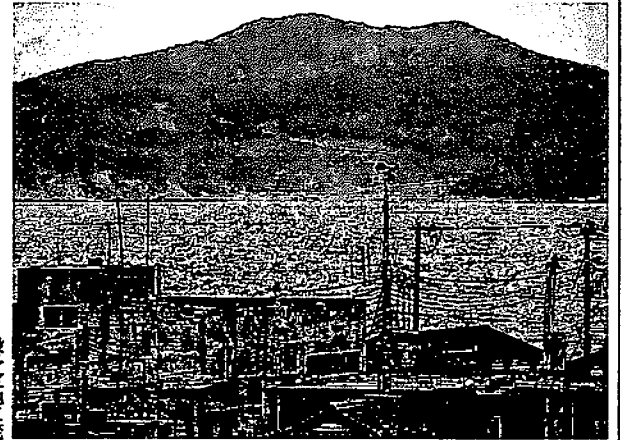
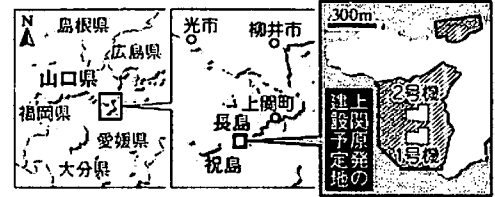


山口・上関

「コンクリートから人へ」を唱える鳩山政権。ところが、国際生物多様性年でもある今年、カムリウミスズメなど希少な生物がすむ瀬戸内の海が埋められようとしている。中国電力が計画している上関原子力発電所(山口県上関町長島)の建設計画だ。地元住民らの反対にもかかわらず、同社は昨年、埋め立てに着手、原子炉の設置許可を国に申請した。鳩山政権下でも、原発は例外なのか。(加藤裕治)



瀬戸内海・祝島から見た長島。海を越えた正面が上関原発の建設予定地だ。いずれも山口県上関町で

中国電力が山口県上関町長島に出力137.3万kwの改良機炉2基を建設する計画。1988年に上関町が同社に誘致を申し入れた。すでに本体工事前の敷地造成や海面埋め立てなど準備工事に着手。1号機は2018年3月、2号機は22年度完成の予定だが、向かいの祝島の反対などで予定時期は延期を覚悟している。

「コンクリートから人へ」唱える鳩山政権

原発は例外か

止まらぬ計画

山口県上関町長島の浜辺。ここでは、上関原発建設に向けた作業が進んでいる。オレンジ色の金網に「立ち入り禁止」の看板。その向こうは森が切り開かれ、地面に砂利が敷かれている。プレハブや重機も見える。

希少種の「宝庫」

日本周辺の海にだけ約五千羽が生息するをきれという同社の対応を十分と感じていた。日本鳥学会も同じ立場で、先月八日、中国電力の「立ち入り禁止」の看板。その向こうは森が切り開かれ、地面に砂利が敷かれている。プレハブや重機も見える。

環境影響評価をしたという同社の対応を十分と感じていた。日本鳥学会も同じ立場で、先月八日、中国電力の「立ち入り禁止」の看板。その向こうは森が切り開かれ、地面に砂利が敷かれている。プレハブや重機も見える。

で七回、自然保護についての要望を中国電力に提出した。「法に従って環境影響評価をした」という同社の対応を十分と感じていた。日本鳥学会も同じ立場で、先月八日、中国電力の「立ち入り禁止」の看板。その向こうは森が切り開かれ、地面に砂利が敷かれている。プレハブや重機も見える。

「CO2削減25%達成」も根拠に

が主産業で、人口約五百人の九割の人たちが原発反対だ。住民の七割以上が六十五歳を超え、高齢化が著しい。先月九日に開かれた原発反対の集会には、島民約百五十人が集まった。つえをくく人や、四つんばいになって会場の階段を上った人もいた。

対岸の島民警戒

島民たちは「原発反対が生活の一部になっていく」と笑う。島内の掲示板には原発反対のちうし経済産業相に申請した。

「島民の会」の山崎さんには「民主党の小沢一郎幹事長は普天間飛行場移設問題で『辺野古の両いきれいな海を汚してはいけない』と言った。この海にも同じことを言ってしまう」と願う。

「CO2削減25%達成」も根拠に。島民たちは「原発反対が生活の一部になっていく」と笑う。島内の掲示板には原発反対のちうし経済産業相に申請した。

「CO2削減25%達成」も根拠に

島民たちは「原発反対が生活の一部になっていく」と笑う。島内の掲示板には原発反対のちうし経済産業相に申請した。

「島民の会」の山崎さんには「民主党の小沢一郎幹事長は普天間飛行場移設問題で『辺野古の両いきれいな海を汚してはいけない』と言った。この海にも同じことを言ってしまう」と願う。



先月9日、原発建設反対の集会に集まった祝島の住民たち

特報

現場で反対運動に取り組んでいる「長島の自然を守る会」の高橋美登里代表は工事の影壁が出現したと感じている。「建



現場で反対運動に取り組んでいる「長島の自然を守る会」の高橋美登里代表は工事の影壁が出現したと感じている。「建